令和３年度　清水小学校の教育　【企画編】

笑顔輝く　日本一の学校

～笑顔で登校、笑顔で下校、子どもの歓声が共鳴する学校～

≪学校教育目標≫

心身ともに健康で　未来に生きる高い知性と豊かな心情と強い意志を培い　主体的に行動できる子どもを育てる

しっかり学ぶ　～“頭”いきいき～

◆確かな学力の育成　**●学びの環境づくり**～「授業のやくそく『これだけは！』（学習規律）」の見直しと定着＝一貫・継続・徹底、美しい教室環境（整理整頓、掲示物の工夫等）**●基礎・基本の確実な定着（日常授業の改善）**～学習課題（ゴール）とまとめの明示（見通し・振り返り）、構造的な板書づくりとノート指導の連動、ＩＣＴ機器の積極的・効果的な活用、「解き直し」による確実な定着**●個に応じた指導、専門性を生かした指導の充実**～担任・ＴＴ・専科・支援員等の連携、少人数・習熟度別指導、指導体制の工夫（合同・交換授業等）**●家庭学習の習慣化**～目安の時間の定着、学び方の指導・家庭との連携（「家庭学習の手引き」の活用、通信での働きかけ等）**●各種調査やテスト等の活用・分析**～成果と課題の明確化･共有、補充指導、授業改善～

◆「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善　**●新しい時代に必要な資質・能力の育成**～知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養**●単元や題材全体のデザイン**＝主体的に考え、表現し、学び合う場の設定と充実**●「深い学び」の充実**～各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を踏まえた学習活動の工夫

◆新学習指導要領の着実な実施　**●外国語教育の充実**～外国語講師・ＡＥＴと連携した授業づくり、指導力の向上、評価の在り方　**●情報活用能力の育成**～ＰＣ・タブレット等を活用した学習活動の充実（ＧＩＧＡスクール構想）、プログラミング的思考や情報モラルの育成**●キャリア教育**～学級活動を要とした指導、「キャリア・ノート」の活用**●防災教育の充実**～「一日防災学校」の実施**●学習評価**～観点別学習状況評価の定着、保護者への説明、指導と評価の一体化

◆特別支援教育の充実　**●個に応じた適切な支援や指導の充実**～特別支援コーディネーターを核とした教師同士、教師と支援員・指導助手の情報共有と連携、専門機関等の活用、専門性・指導力向上を図る研修の充実、個別の教育支援計画・指導計画の作成、自立活動の充実**●幼保小、小中の滑らかな接続**～教師間・校種間・関係機関等との連携、スタート・カリキュラムの活用

みんな笑顔　～“心”いきいき～

◆爽やかな挨拶が響き、落ち着きのある学び舎　**●爽やかで笑顔のある挨拶**～まずは教師から（率先垂範）、必要性（意味・価値・場面等）を考える場の設定、目標（目指す姿）の共有**●落ち着いた学校生活**～「しみずっ子の一日」の共通理解と徹底、教師のこまめな声かけ、一体的な指導

◆温もりと潤い、安心感のある学級　**●学年・学級経営の充実**～確かな共感的児童理解（愛情・観察・対話等）、支持的受容的風土の醸成、学年団の連携**●いじめの根絶・不登校の解消**～より良い人間関係づくり、所属感や自己肯定感の醸成、家庭・関係機関・ＳＣ等との連携＝チーム対応**●異学年交流の充実**～縦割り班の組織、活用の工夫

◆道徳教育の充実　**●「考え、議論する道徳」の授業づくり**～校内研修の成果を土台とした授業改善⇒道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度の育成、保護者への授業公開**●評価の改善**～「学習状況」の見取りと蓄積、評価方法の工夫

◆読書活動の充実　**●「読む」時間の創出**～朝読書、授業（音読等）、隙間時間の活用＝いつも身近に１冊の本を**●家読の奨励**～「まずは 10 分」から、意図的な仕掛け（家庭学習との連動等）を**●読書環境の整備**～道立図書館や町図書館と連携した読書環境の整備

ずっと元気　～“体”いきいき～

◆望ましい生活習慣の定着　**●家庭生活の実態把握**～児童・保護者アンケート（年２回）、定期的なチェックシート等による実態把握と改善に向けた意識付け**●家庭への情報発信と連携**～各種通信・チラシ等による具体的な情報発信と啓発**●出前講座・教室等の開催**～正しい知識、適切で安全な利用方法等の習得⇒子どもの意識、実践力の向上

◆体力・運動能力の向上、健康の増進　**●体育授業の工夫・充実**～運動することに楽しさを見出し、夢中になって取り組む授業の充実**●体力テストの実施**～実施方法の工夫（縦割・効率化）、実態把握と弱点の補強、記録の視覚化**●健康の増進**～「遊び」を通した運動の日常化、校内外を有効活用した遊び場の工夫、感染症予防

◆食育の推進・充実　**●計画的・系統的な指導**～栄養教諭を核とした指導、食育の全体計画の作成と年間指導計画への位置付け、関係機関等と連携した食育の充実**●給食指導を通した食に関する指導の充実**～「食」への興味・関心、安心・安全、マナー、感謝の心の育成等

チーム清水小　～“みんな”いきいき～

◆ＣＳ・小中一貫教育の推進・充実　**●「十勝清水学」の推進**＝ふるさと清水町を愛し、誇りをもつ子どもの育成～地域素材や人材を生かした体験的な学習の充実・体系化、学校支援ボランティア等の活用による教育活動の充実**●推進体制の強化**～ＣＳコーディネーター・校内コーディネーターの円滑な連携＝学校や教師の要望の迅速な実現**●小中一貫教育**～９年間のつながりのある教育、人としての基盤づくり＝知徳体・感性・耐性を育む、推進協議会の設置、保護者への説明、先進地視察

◆清水小の働き方改革　**●教職員の心身の健康維持**～定時退勤日（個別）の設定と確実な取得、学校閉庁日の設定、少年団活動等の休養日の設定、変形労働時間制等の適切な活用**●業務の効率化・負担の軽減**～出退勤管理、分掌業務等の平準化、ＳＳＳの積極的な活用、学級会計事務の移行、ＰＣを活用した打ち合わせや会議・夕打ちの試行⇒子どもと向き合う時間の創出